

# 平成 29 年度 附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

## 目次

1. 平成 29 年度の特記事項	1
1.1 新図書館計画の推進	1
1.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の開始	1
1.3 附属図書館ウェブサイトのリニューアル	1
1.4 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス	2
1.5 連携研究機構 HMC への参加（総合図書館）	2
1.6 総合図書館所蔵貴重資料の修復（総合図書館）	2
1.7 総合的教育改革への対応（駒場図書館）	2
1.8 駒場図書館開館 15 周年（駒場図書館）	3
2. 研究成果の発信、資料の電子化	4
2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ	4
2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業	4
2.3 電子化資料公開システムの改良等	4
2.4 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同ネットワーク事業」による資料電子化 作業（総合図書館・駒場図書館）	4
3. 利用者サービス、ガイダンス、広報	5
3.1 MYOPAC による文献取寄せサービス	5
3.2 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）	5
3.3 図書館ガイダンス、講習会等	6
3.4 キャンパス一般公開	7
3.5 イベント企画（総合図書館）	8
3.6 展示企画及びイベント等（駒場図書館）	9
3.7 展示会及びイベント等（柏図書館）	10

<b>4. 資料の収集</b> .....	<b>12</b>
4.1 学習用図書 of 整備 .....	12
4.2 全学資料購入集中処理システム of 着実な運用 .....	12
4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等 of 整備 .....	12
4.4 大型コレクション .....	12
<b>5. 資料 of 管理</b> .....	<b>13</b>
5.1 目録データ of 遡及入力事業 .....	13
5.2 自動書庫へ of 資料入庫 (総合図書館) .....	13
5.3 自動書庫へ of 雑誌移管 (柏図書館) .....	13
5.4 開架図書 of 移動 (駒場図書館) .....	13
5.5 図書資産 of 実査 .....	14
5.6 総合図書館改修工事に伴う資料 of 学内移転 .....	14
<b>6. 業務管理</b> .....	<b>15</b>
6.1 GIF プロジェクト終了へ of 対応 .....	15
6.2 職員研修 .....	15
6.3 友 of 会 (柏図書館) .....	16
6.4 インターンシップ .....	16
6.5 地域連携 (柏図書館) .....	16
6.6 教員著作物可視化事業 of 連携 .....	16
6.7 学内他部署 of 連携 .....	17
6.8 規則改正 .....	17
<b>7. 附属図書館会議</b> .....	<b>18</b>
<b>全図書館・室統計</b> .....	<b>19</b>

# 1. 平成 29 年度の特記事項

## 1.1 新図書館計画の推進

総合図書館別館が平成 29 年 5 月に竣工し、7 月 7 日に工事関係者への感謝状贈呈及び見学会が行われた。別館ライブラリープラザは 7 月から、本館改修工事による閲覧スペース不足を補うため、学習スペースとして利用に供された。また平成 30 年 2 月からは総合図書館書庫の図書と製本雑誌を、自動書庫へ搬入した。

総合図書館本館の耐震改修工事は平成 29 年 10 月から、Ⅲ-1、2 期部分が始まった。開架図書エリア、3 階大閲覧室や ECCS 端末のある部屋などが利用不可となるため、開架書架をⅡ期工事の終了した西側事務エリアに移動して開架図書はすべて利用できる状態で開館し、一方で前述のライブラリープラザの他、本郷キャンパス内の安田講堂、医学部 1 号館などにも学習スペースを確保しながらサービスを継続した。

新図書館計画の組織体制では、新図書館計画の部会を整理し、幹事会と今後も検討が必要な「建設・改修部会」と「フロアプラン部会」と統合した「改修・フロアプラン部会」及び「アジア研究図書館部会」のみとし、この体制も平成 29 年度限りで見直すとした。改修・フロアプラン部会はⅢ-1、2 期工事に関わる検討を行い、アジア研究図書館部会は総合図書館 4 階に設置されるアジア研究図書館のサービスの検討等を行った。

また新図書館計画推進室も計画の段階は終わったとして、広報関係の業務は総務課、学術資産等アーカイブズ関連の業務は、新設された東京大学学術資産アーカイブズ推進室が引き継ぐこととなり、組織としての新図書館計画推進室は終了した。

## 1.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の開始

「東京大学ビジョン 2020」のアクションの一つに「東京大学が保持する学術資産のアーカイブを構築し、その公開と活用を促進することで、学術の多様性を支える基盤を強化する」ということが掲げられ、平成 28 年度に附属図書館、文書館、博物館、情報基盤センターの各長などから成る「東京大学学術資産等アーカイブズ委員会」が設置された。そして本学の多様な学術資産等のデジタルアーカイブ化を行い、かつ国内外に向けて広く公開し、その活用を促進するために、平成 29 年度から委員会主導のもと東京大学デジタルアーカイブズ構築事業が開始された。（詳細は 2.研究成果の発信、資料の電子化に記載）

## 1.3 附属図書館ウェブサイトのリニューアル

平成 29 年 9 月に、新たな附属図書館ウェブサイトを開示した。それまでも附属図書館や各拠点図書館のホームページは開設されていたが、各図書館が個々に管理する体制での運用など、やや旧態依然とした管理を行っていた。そこで平成 28 年度からウェブサイト担当者等によりリニューアルについての検討を進め、附属図書館の下に総合図書館・駒場図書館・柏図書館の各サイトを置く構成とすること、デザインやサイト構成に統一感を持たせること、コンテンツマネジメントシステムを導入し、将来的には部局図書館のサイトも追加できる仕組みとすることなどの基本方針が決まった。それに沿って平成 28 年度内に外注によるウェブサイト構築を行った。平成 29 年度は広報委員会メンバーにより、旧ページからのコンテンツ移行と新設ページの作成作業を行い、9 月 4 日にリニューアル公開した。公開後は特に大きな混乱やシステム上のトラブルもなく、安定して稼働しており、様々な広報の場として機能している。

## 1.4 障害のある利用者（本学構成員）への資料電子化サービス

総合図書館、駒場図書館、柏図書館において、バリアフリー支援室の協力のもと、視覚障害等により紙媒体の資料の利用が困難な本学構成員を対象とした資料電子化サービスの本運用を開始した（平成 28 年度は試行的に実施）。平成 29 年度の電子化実施件数は、総合図書館 41 件（うち PDF35 件、テキストデータ 6 件）、駒場図書館 41 件（全て PDF）であった。

## 1.5 連携研究機構 HMC への参加（総合図書館）

総合図書館は思想・歴史・言語・文学・教育・芸術・建築・生活等にわたる人文学及び隣接諸分野における部局横断的な研究協創のプラットフォームを目指す、8 部局による連携研究機構「ヒューマニティーズセンター（HMC）」に参加した。ヒューマニティーズセンターの寄附研究部門が総合図書館 4 階に設置された。

## 1.6 総合図書館所蔵貴重資料の修復（総合図書館）

総合図書館が所蔵する『阿蘭陀加比丹並妻子之図』（おらんだかびたんならびにさいしのず）の修復事業が平成 30 年 3 月に完了した。本事業は、公益財団法人出光文化福祉財団の美術品修復事業助成を受け、平成 28 年度より 2 ヶ年計画で実施していたものである。『阿蘭陀加比丹並妻子之図』は、1817 年に島オランダ商館に赴任した商館長ヤン・コック・ブロンホフ一家を描いた絵画作品で、歴史的、美術史的にも重要な作品であるにも関わらず、経年による傷みが激しく、放置すれば制作当時の画像の詳細が失われる危険があった。このたびの修復により、絵画中の人物や家具等の色彩が鮮やかに蘇り、また、表具及び収納箱の新調によって長期的な保存が可能となった。今後は展示会への出品やデジタル画像の公開等を通して本作品の積極的な活用が期待される。

『阿蘭陀加比丹並妻子之図（本紙部分）』



修復前



修復後

## 1.7 総合的教育改革への対応（駒場図書館）

### (1) 初年次ゼミナールでの検索実習支援

平成 29 年度に開講された学部新生必修授業の「初年次ゼミナール文科」および「初年次ゼミナール理科」において、駒場図書館職員と情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当（以下、学術情報リテラシー担当）が教材の作成、検索実習の講師を担当するなど引き続き支援を実施した。

平成 29 年度に開講された学部新入生必修授業の「初年次ゼミナール文科」および「初年次ゼミナール理科」において、駒場図書館職員と情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当（以下、学術情報リテラシー担当）が教材の作成、検索実習の講師を担当するなど引き続き支援を実施した。

## (2)開館時間の拡大（試行）

平成 28 年度に引き続き、平成 29 年度においても春季休業期間の開館時間を、平日は 8:30-17:00 から 8:30-20:00 に、休日は閉館日であったところを 9:00-19:00 とする試行を実施した。また、正式移行のための利用規則改正も行った。

## (3) 全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」との連携

平成 29 年度開講の全学自由研究ゼミナール「図書館の学び・活用・提案」（通称：こまとちゃんゼミナール）の一環として、駒場図書館バックヤード見学、発表会の聴講・講評、駒場図書館展示コーナーを活用しての授業成果発表を実施、教育学習資源としての図書館の有効活用促進に寄与する成果を得た。

## 1.8 駒場図書館開館 15 周年（駒場図書館）

駒場図書館は平成 29 年 10 月に開館 15 周年を迎えた。これを記念して 10 月にはこまとちゃんオリジナルブックカバー・壁紙のプレゼント企画を実施した。また、平成 30 年 3 月にこれまでのあゆみや活動、貴重書の紹介などを掲載した『東京大学駒場図書館開館 15 周年記念誌』を制作し、館内で配布すると共にウェブサイトでも公開したほか、3 月 24 日から 4 月 11 日まで 1 階展示コーナーにて、資料を手に取り読むことや貸し出しもできる形で「歴代館長著作展示」を催した。



## 2. 研究成果の発信、資料の電子化

### 2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ

平成 29 年度は全体で 2,190 件のコンテンツ追加登録を行い、これにより総コンテンツ数が 38,726 件になった。登録コンテンツの内訳は、紀要・博士論文が中心である。紀要は、昨年度より取り扱いタイトルが 8 誌増加し、86 誌からなる 25,845 件の論文を公開し、本学の研究成果の発信に貢献している。

10 月 2 日から、オープンアクセスリポジトリ推進協会と国立情報学研究所が共同運営する共用リポジトリサービス“JAIRO Cloud”に参加し、システムのリプレイスとウェブサイトの更新を行った。

### 2.2 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業

平成 28 年度に東京大学に学術資産等アーカイブズ委員会が設置され、平成 29 年度から東京大学デジタルアーカイブズ構築事業が実施されることを受け、事業実施の事務局として、附属図書館内に東京大学学術資産アーカイブ化推進室が開設された。附属図書館副館長を室長とし、情報基盤センター教職員と附属図書館職員がメンバーとなっている。

平成 29 年度は、8 事業に対するデジタル化支援、平成 30 年度実施事業の公募・選定、「東京大学学術資産等アーカイブズリンク集」の開設、「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」のプロトタイプ開発、画像サーバの新規導入及び IIIF(トリプルアイエフ・International Image Interoperability Framework)対応での画像公開、デジタルアーカイブに関するセミナーの実施などを行った。

### 2.3 電子化資料公開システムの改良等

情報基盤センターの提供する貴重書サーバにより、22 の貴重資料コレクションをウェブで公開している。平成 29 年度には平賀譲デジタルアーカイブのシステムリニューアル及び観世アーカイブの画像ビューワー更新を行った。

### 2.4 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同ネットワーク事業」による資料電子化作業（総合図書館・駒場図書館）

本学は、平成 29 年度の同事業拠点大学における画像情報撮影計画対象外であったが、国文学研究資料館から臨時の経費配分があり、総合図書館では、鵜軒（がっけん）文庫のうち江戸期の医学書 266 点、駒場図書館では、演劇・浄瑠璃研究家の木谷蓬吟旧蔵の幕末・明治期の浄瑠璃関係史料のコレクションである木谷文庫のうち 70 点の電子化作業を行った。

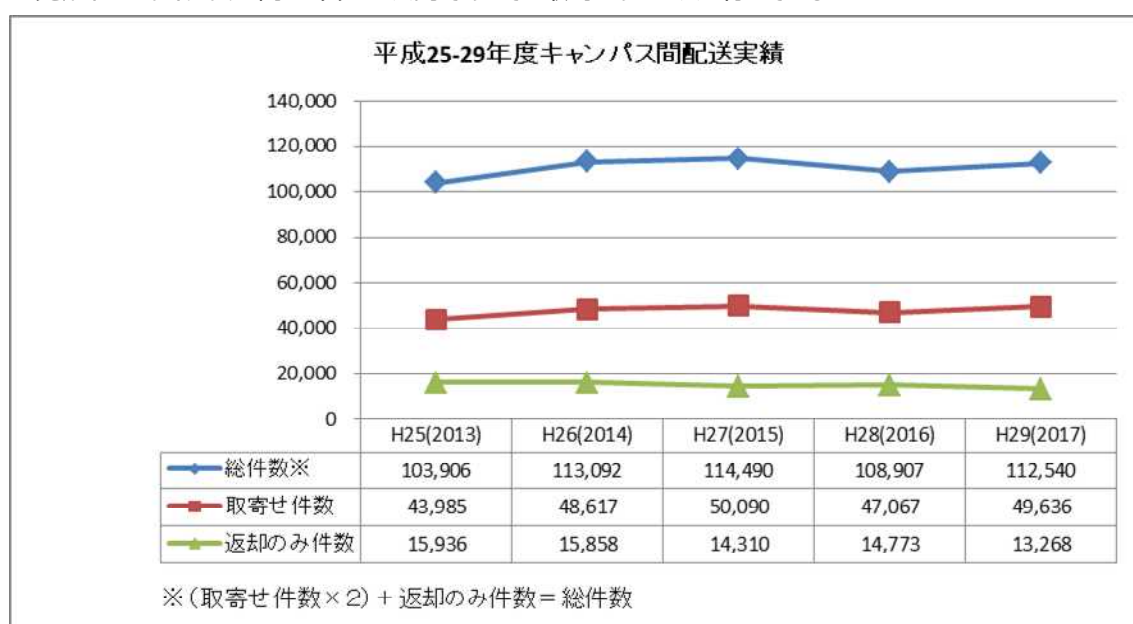
## 3. 利用者サービス、ガイダンス、広報

### 3.1 MYOPAC による文献取寄せサービス

平成 23 年 3 月から、利用者自身が直接所蔵館に図書の取寄せ申込みをすることができるようになり、年々利用が増加していたが、このサービスが定着しここ数年は一定数を保っている。平成 28 年 7 月から、弥生・本郷地区間の取寄せ・返却サービスを開始した。

平成 29 年度の学内図書館・室間の取寄せ冊数は、49,636 冊、取寄せのほか、図書の返送のみの利用も含めると 112,540 冊の利用に上り、学内の図書資源共有に不可欠なサービスとして定着している。

なお、原則としてホームライブラリと同じキャンパス内にある図書館・室に対する文献取り寄せサービスの申込は受け付けていないが、直接来館が困難な障害のある利用者や、演習林等の遠隔地附属施設所属者に対して、依頼先がホームライブラリと同一キャンパス内であっても取寄せサービスを行っている。



### 3.2 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）

公式キャラクター「こまとちゃん」を活用し学生志向の親しみやすい広報を心掛けている。特に、展示「ご用心！梅雨から夏のうっかり汚損：水濡れ・色シミ・カビ」（6～7月に開催）および展示「こまとちゃんが泣いている 2017 - 本も机も泣いている」（9～10月に開催）では、学生に伝えたい汚破損等の実態や事柄をマンガにするなど、学生の目をひくような工夫を施し、利用者への注意喚起を行うことができた。

また、試験応援企画として、オリジナルしおり付き保存水やオリジナルミニノートをプレゼントするなど学生との交流を図った。なお、ミニノートづくりについては図書館の広報をテーマに『医学図書館』に寄稿し\*、学内外からの反響を得た。

\* 田崎淳子, 櫻井梓"事務室で作る図書館グッズ：こまとちゃんミニノート編" 医学図書館 64(3), p.119-121, 2017.



### 3.3 図書館ガイダンス、講習会等

新入生や留学生などを対象に、図書館案内や、資料検索のガイダンス等を実施した。

#### (1) 総合図書館

新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。内容は、①図書館利用案内、② 館内・書庫案内、③本や論文の探し方、である。なお、③の実施に当たっては、学術情報リテラシー担当の全面的な協力を得て実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語または英語による図書館利用説明を行った。

期間	内容	参加者数
平成 29 年 4 月 5 日～11 日	「総合図書館 Library tour」(春) 日本語コース 3 回、英語コース 2 回	66 名
9 月 27 日～ 10 月 10 日	「総合図書館 Library tour」(秋) 日本語コース 2 回、英語コース 3 回	54 名
春季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 1 回	12 名
秋季	授業、ゼミ、部局図書室等との連携によるオリエンテーション 日本語 4 回、英語 1 回	48 名

#### (2) 駒場図書館

文系 1 年生の「初年次ゼミナール文科」で検索実習のほか、オプションとして図書館ツアーも行った。また、「初年次ゼミナール理科」受講の理系 1 年生向けミニ講習会、院生・留学生向けのガイダンス、授業での文献検索ガイダンスや専門データベース講習会も実施した。

期間	内容	参加者数
春季	大学院新入生向け図書館ガイダンス 8 回	22 名
春季	初年次ゼミナール文科 検索実習 12 回 (学術情報リテラシー担当と共催)	1,271 名
春季	初年次ゼミナール文科 オプション図書館ツアー・セミナー 44 回	402 名
春季	初年次ゼミナール理科 ミニ講習会 5 回	18 名
春季・秋季	留学生向け図書館ツアー・ガイダンス 17 回	113 名
秋季	PEAK 初年次ゼミナール 検索実習・図書館ツアー 1 回	25 名
(随時)	授業内での文献検索ガイダンス等 5 回	52 名
(随時)	専門データベース講習会 15 回 (学術情報リテラシー担当と共催)	45 名

### (3) 柏図書館

4月～7月、9月～11月の新任職員、新入生が入る時期に重点を置き、適宜、学術情報リテラシー担当と連携しながら図書館利用ガイダンスや講習会等を実施した。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	新領域創成科学研究科 新入生ガイダンス 計9回	493名
春季・秋季	新領域創成科学研究科 留学生ガイダンス 計2回	190名
春季・秋季	柏図書館ライブラリーツアー 計2回	75名
春季・秋季	データベース講習会 計24回	77名

## 3.4 キャンパス一般公開

平成29年度も、本郷キャンパスで2日間の「高校生のためのオープンキャンパス」、卒業生を対象にした「ホームカミングデイ」、柏キャンパスで2日間「柏キャンパス一般公開」が開催された。

### (1) 総合図書館

オープンキャンパスは8月2～3日に開催された。総合図書館別館ライブラリープラザを、自由見学及び休憩ができるようなエリアとして開放した。

ホームカミングデイは10月21日に開催され、総合図書館別館ライブラリープラザの自由見学と寄附者への記念品配付を行った。

### (2) 柏図書館

柏キャンパス一般公開に参加し、以下の事業を行ったほか、来訪者への館内公開を行った。

期間	内容
平成29年 10月27～28日	「えぞ松の更新（幸田文1971）とサイバーフォレスト（富良野前山ライブモニタリング2014）」
柏図書館テーマ 「自分を取り巻く 世界を探る」	「映像で観るフェノロジー：20年間で桜の開花は早まったのか？」 （空間情報科学研究センター・柏図書館合同企画）
	柏図書館セルフツアー
	「スタンプラリー」 （柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館2017」）
	「東大生の本棚2017」：学生おすすめ図書展示 （「ビブリアバトル-東大生の書評合戦-」関連企画）
	「リケジョの本あります」：図書展示 （柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館2017」）
	「リケジョのMy 研究生生活」：パネル展示 （柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館2017」）

### 3.5 イベント企画（総合図書館）

#### (1) 講演会・セミナー等

期間	内容	参加者数
平成 29 年 7 月 22 日	【U-PARL 主催】アジアンライブラリーカフェ no.001 古代エジプトの書記は聖刻文字を書いていなかった～書記の書いた神官文字を体験する～	41 名
10 月 20 日	【U-PARL 主催】アジアンライブラリーカフェ no.002 古典籍 on flickr !	32 名
11 月 9 日	文学インタビュー第 12 回 小川洋子（〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会） 【東京大学新図書館トークイベント EXTRA】公開収録	99 名
平成 30 年 2 月 2 日	文学インタビュー第 13 回 松浦理英子（〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会） 【東京大学新図書館トークイベント EXTRA】公開収録	160 名
2 月 13 日	【学術資産アーカイブ化推進室主催】セミナー「学術資産アーカイブズとメタデータ」	70 名
3 月 17 日	南原繁記念出版賞第 8 回表彰式・第 7 回受賞者講演会 講演：石川学氏（東大新図書館トークイベント 18）	37 名
3 月 24 日	【U-PARL 主催】アジアンライブラリーカフェ no.003 アジアの言語を語ろう	34 名

#### (2) ミニレクチャプログラム

平成 29 年度も図書館における教育のあり方を考え、図書館で学際的なテーマにふれる機会を設けることを目的に、新図書館計画推進室により「ミニレクチャプログラム」が企画、実施された。これは、「東京大学フューチャーファカルティプログラム(FFP)」の協力を得て、FFP を修了した大学院生が講師となり、アクティブラーニングを取り入れた模擬授業を行うものである。今年度は総合図書館内のミニレクチャールームが工事により閉室となったため、福武ホール地下 1 階 講習会コーナーで実施した。

期間	内容	参加者数
平成 29 年 7 月 26 日	ミニレクチャ 1「地域アートってなんだろう？ :アーティストの眼、地域の眼」 講師 山本暁美さん (学際情報学府) ミニレクチャ 2「『国民性の違い』について考える :文化心理学のこれまでとこれから」 講師 正木郁太郎さん (大学総合教育研究センター)	17 名

平成30年 2月27日	ミニレクチャ1「呼吸で重症を見分ける」 講師 麻生将太郎さん (医学系研究科) ミニレクチャ2「本当は身近な精神疾患」 講師 金原明子さん (医学系研究科) ミニレクチャ3「牛の繁殖ことはじめ」 講師 石山大さん (農学生命科学研究科) ミニレクチャ4「情報を食べる～食品属性の分類～」 講師 伊藤暢宏さん (農学生命科学研究科) ミニレクチャ5「資源枯渇とは ～資源は本当になくなるのか?～」 講師 横井峻佑さん (工学系研究科)	14名
----------------	---	-----

### 3.6 展示企画及びイベント等（駒場図書館） (1) 展示企画

期間	内容
平成29年 6月16日 ～7月31日	駒場図書館展示「ご用心！梅雨から夏のうっかり汚損：水濡れ・色シミ・カビ」 (駒場図書館1階展示コーナー)
9月25日 ～10月15日	展示「こまとちゃんが泣いている2017 - 本も机も泣いている」 (駒場図書館1階展示コーナー)
10月12日 ～10月31日	磯崎新氏からの寄贈図書展示「建築という知の宇宙」 (駒場図書館1階特設コーナー)
10月21日 ～10月30日	第16回ホームカミングデイ企画展「絵画と写真でたどる一高」 (駒場図書館1階展示コーナー)
11月1日 ～11月7日	展示「東大教師が新入生にすすめる本2017」 (駒場図書館1階展示コーナー)
平成30年 3月24日 ～4月11日	展示「東京大学駒場図書館開館15周年記念歴代館長著作展示」 (駒場図書館1階展示コーナー)

## (2) イベント等

期間	内容
11月1日	ジェトロ・アジア経済研究所図書館・駒場図書館共催ブックトーク「現実と虚構(フィクション)のあいだー現代小説から読み解く中国とインドー」 (21 KOMCEE West K303 教室)



なお、上記以外に展示ケース利用制度による展示企画が 6 件（計 97 日間）あり、授業成果発表・学生団体・学内他部署（詳細は 6.6[学内他部署との連携]に記載。）などにも展示コーナーが活用された。

## 3.7 展示会及びイベント等（柏図書館）

### (1) 展示会

期間	内容
平成 29 年 1月～9月	宇宙線研究所研究プロジェクト巡回展示
2月～4月	男女共同参画関連図書「GENKI BOOKS」展示
2月～4月	文書館企画展示「東京大学文書館への招待」
～10月	第 5 回企画展示「東京大学とノーベル賞」（駒場博物館、医科学研究所図書館提供）
4月～11月	第 8 回企画展示「植物細胞壁のミクロの世界」
10月～12月	第 9 回企画展示「鷗外文庫にみる几帳面な鷗外」（柏市立図書館・柏市内 4 大学合同企画展）
12月～	第 11 回企画展示「ふね遺産『平賀謙文書』」
平成 30 年 1月～	第 10 回企画展示「えぞ松の更新と図書館の先にある自然」

## (2) イベント等

期間	内容
平成 29 年 5 月 25 日	第 2 回柏図書館友の会上映会『初恋のきた道』（主催:柏図書館友の会、共催:柏図書館）
6 月 23 日	第 15 回サイエンスカフェ「植物細胞壁研究の今 ～壁ってかたい？ やわらかい？」 桧垣匠（東京大学新領域創成科学研究科特任准教授）
7 月 11 日	英語落語鑑賞会（主催:東京大学国際センター柏オフィス、共催:柏図書館）
9 月 29 日	柏図書館ビブリオバトル
11 月 25 日	柏市立図書館・柏市内 4 大学合同企画ビブリオバトル（主催:柏市立図書館）
平成 30 年 1 月 12 日	第 20 回わくわくミニコンサート（柏図書館、柏図書館友の会共催）
1 月 19 日	第 16 回サイエンスカフェ：平賀文書－デジタルアーカイブを利用した歴史学の研究手法とそれを支える情報技術 大和裕幸（東京大学名誉教授、海上・港湾・航空技術研究所理事長）、中村 覚（情報基盤センター 助教）


**東京大学** Kashiwa Library events 2017  
 東京大学柏図書館 イベントシリーズ2017

**柏図書館サイエンスカフェ**

Kashiwa Library Science Cafe # 16

**平賀文書ーデジタルアーカイブを利用した歴史学の研究手法とそれを支える情報技術**

ゲスト  
 大和裕幸 第13代東京帝国大学総長・海軍技術中將である平賀源三が遺した資料「平賀源三文書」のデジタル化事業に際するシステムが平賀源三デジタルアーカイブで、本発表では平賀源三文書を踏まえ、平賀源三の生涯をめぐり、本デジタルアーカイブを例とした歴史学の研究手法とそれを支える情報技術について発表します。

カフェホスト  
 中村 覚 助教 東京大学 情報基盤センター 東京大学 情報基盤センター 東京大学 情報基盤センター

Historical Study with Yuzuru Hiraga Digital Archive

**1/19 (金) 16:00～17:30** 受付開始 15:45  
 定員25名(先着順) 入場無料

主催：東京大学柏図書館  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>  
 Tel:04-7136-5711 E-mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp  
 後援：東京大学柏図書館友の会


**東京大学** Kashiwa Library events 2017  
 東京大学柏図書館 イベントシリーズ2017

**第8回 柏図書館企画展示**

文部科学省科学研究費助成事業 新字術領域 植物細胞壁の情報処理システム  
**植物細胞壁のミクロの世界**

本発表では平賀源三文書を踏まえ、平賀源三の生涯をめぐり、本デジタルアーカイブを例とした歴史学の研究手法とそれを支える情報技術について発表します。

**4/10 (月)～11/20 (月) 平日9:00～21:00**  
 (8月・9月は17:00まで)  
 柏図書館 1階 コミュニティサロン展示スペース

主催：文部科学省科学研究費助成事業 新字術領域 植物細胞壁の情報処理システム  
 東京大学柏図書館 (<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/>)  
 Tel:04-7136-5711 E-mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp  
 協力：東京大学駒場博物館 (<http://www.museum.u-tokyo.ac.jp/>)


**東京大学** Kashiwa Library events 2017  
 東京大学柏図書館 イベントシリーズ2017

**第11回 柏図書館企画展示**

**ふね遺産 平賀源三**

東京帝大第13代総長  
 海軍造船中將  
 平賀源三の生涯を追う

**2017年12月18日(月)～2018年12月(予定)**  
 休館日を除く平日9:00～21:00 (3月、8月、9月は17:00まで)  
 柏図書館 2階 展示スペース  
 主催：東京大学柏図書館 (<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>)  
 Tel:04-7136-5711 E-mail: kashiwar@lib.u-tokyo.ac.jp

## 4. 資料の収集

### 4.1 学習用図書の整備

平成 20 年度から恒常的に措置されている学習基盤経費により、今年度は総合・駒場・柏図書館で合計 10,598 冊（総図：4,496 冊、駒場：4,520 冊、柏：1,582 冊）の学習用図書を購入した。図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を生かすため、ジュニア・スタッフによる選書を実施している。また、留学生向けの資料購入も別途行っており、総合図書館では 20 冊、柏図書館では洋書を中心に 81 冊の図書を購入した。このほか、駒場図書館では平成 22 年度より継続して東大駒場友の会から学生向けの図書の寄贈を受けており、今年度は 282 冊が寄贈された。

また、シラバス掲載タイトルの購入など、和書電子書籍の整備を積極的に推し進め、約 2,000 タイトルが利用可能となっている。

### 4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用

経費節減と事務の効率化を図ることを目的として、図書資料を全学的に共同購入するシステムを平成 16 年度から運用している。第 1 ステージ（図書館・室を通して購入する図書資料）と第 2 ステージ（教員等が各部署の会計担当を通して直接購入する消耗品扱いの図書資料）をあわせた平成 29 年度の取扱総額は約 2 億 4,800 万円であり、書店への支払いの集中化・一元化により約 1,350 万円の図書購入費を節約することができた。

### 4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備

平成 18 年度に学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」の制度は、平成 28 年度から第 3 期に入った（平成 32 年度まで）。

この制度に基づき、国内雑誌・外国雑誌(冊子) 3,065 タイトル、電子ジャーナル 10,107 タイトル、データベース 63 点を契約し、学習・教育研究活動に必要な学術情報を安定的に供給した。これらの契約にかかる事務処理は総合図書館が一括して執り行い、学内の契約・支払い業務の効率化も同時に図っている。

### 4.4 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備することとした。

(1) British Library Newspapers. Part III-V

(大英図書館所蔵 近代英国新聞アーカイブ Part 3-5)

(2) Nineteenth Century Collections Online (NCCO) Archive 9 Science, Technology, and Medicine, 1780-1925. Part II

(オンライン版 19 世紀コレクション：アーカイブ 9：科学・技術・医学の歴史 2)

## 5. 資料の管理

### 5.1 目録データの遡及入力事業

附属図書館では、オンライン蔵書検索システム（OPAC）が導入される以前の紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を 10 年計画で進めている。

平成 27 年度から開始した第 3 期全学遡及入力計画では、前半の 5 年間は、国文学研究資料館が中心となって実施する「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に伴う「新日本古典籍総合データベース」の構築や東京大学新図書館計画を踏まえて総合図書館所蔵資料を優先して行うこととした。加えて、今年度は工学、農学、駒場図書館、東文研所蔵の和古書・漢籍等の入力を実施した。合計で 34,000 冊の目録作成を目標とし、約 47,000 冊（うち総合図書館は約 27,000 冊）のデータ入力を達成した。

### 5.2 自動書庫への資料入庫（総合図書館）

平成 29 年 8 月に完成した自動書庫への資料入庫について、書庫内の温湿度環境が安定したことを受け、平成 30 年度中に着手される閉架書庫の改修工事（Ⅲ-3 期）に向けた資料移動も兼ね、平成 30 年 2 月 21 日に入庫作業を開始した。製本雑誌（和書）と図書（和洋書）を対象として、全入庫数が約 30 万冊、期間は翌年度 4 月末までの予定で計画を策定、年度内には製本雑誌（和書）約 17 万冊および図書（和洋書）の一部入庫まで完了した。

入庫対象を分割して進行管理することで、各資料の利用停止期間を 7～10 日程度に抑え、自動書庫へ入庫済みの資料は職員が出納するなど、作業期間中も極力サービスの提供を行った。

また、自動書庫への入庫作業の一環として、資料の清掃（除塵、一部アルコール清拭）を行うとともに、カビが発生していた資料に対しては、閉架書庫に配架したままビニール被覆による燻蒸を実施。自動書庫内へカビ・埃を持ち込まないよう対策を講じた。

### 5.3 自動書庫への雑誌移管（柏図書館）

今年度は総合図書館、工・情報理工(6 専攻)、理学(2 専攻)、東文研、物性研、大海研の 12 図書館・室から、自然系学術雑誌のバックナンバー 2,142 冊を 10 月 4 日～5 日に移管し、自動書庫に収納した。また、医科学研究所図書室から 5,537 冊の移管資料を受け入れた。現在、自動書庫には総合図書館からの預かり資料も含めて合計約 45 万冊が収納されており、PDF 閲覧サービスを通じて全学の利用に供されている。

### 5.4 開架図書の移動（駒場図書館）

4 階開架図書のうち利用が少ないものを、地下 1 階集密書架へ 2,400 冊、保存書庫へ 800 冊の計 3,200 冊移動し、開架スペースの確保を行った。破損本の補修、除籍等も併せて、蔵書の維持管理と閲覧環境の改善に引き続き取り組んでいく予定である。



## 5.5 図書資産の実査

### (1) 総合図書館

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。平成29年度は第2期計画の3年目にあたり、開架和書、留学生図書及び参考図書計55,553冊を対象とし、11月に実施した。その結果、216冊の不明資料があった。また、昨年度の不明資料162冊（開架内和書）の再調査を併せて実施した結果、42冊の所在を確認し、120冊については依然不明であった。なお作業にあたっては、昨年度に引き続き障害者集中雇用プロジェクトチームの協力を得た。

### (2) 駒場図書館

保存書庫1階の合計61,845冊を対象とし、ジュニア・スタッフ10名により9月に実施した。その結果不明だった54冊については平成30年度に再調査する。

### (3) 柏図書館

4類の開架図書19,966冊を対象とし、7月から8月にかけて実施した結果、8冊の不明資料があった。また、昨年度の不明資料3冊の再調査を併せて実施した結果、1冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続を行った。

## 5.6 総合図書館改修工事に伴う資料の学内移転

平成29年度までに館外に移転した総合図書館所蔵資料のうち、学内で保管している資料を、柏図書館、数理科学研究科図書室、先端科学技術研究センター図書室の支援により、学内者の利用に供している。

## 6. 業務管理

### 6.1 GIF プロジェクト終了への対応

ISO ILL プロトコル変更に伴う現行制度の見直しにより、海外図書館とのグローバル ILL (GIF) のうち日本・北米間の ILL は平成 30 年 3 月を以てサービスを終了することが、国公私立大学図書館協力委員会から平成 29 年 9 月に通知された。

東京大学附属図書館における海外 GIF 参加館との ILL は総合図書館で取りまとめており、GIF プロジェクト終了後の対応について、会計処理上の課題も含めて総合図書館で検討した。学内各図書館・室に対しては、GIF プロジェクト終了に向けた学内スケジュール、および GIF プロジェクト終了後の海外 ILL は各館・室での個別対応とする方針を 11 月に示した。参考のため、総合図書館で GIF プロジェクト終了後に予定している海外 ILL 受付方法・料金決済方法等も後日案内することとした。

なお、日本・韓国間の ILL は平成 30 年 4 月以降も運用されるが、2022 年 3 月末を目途に終了することで韓国教育学術情報院 (KERIS) と合意しており、今後の対応の検討が課題となっている。

### 6.2 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、業務に必要な知識を習得し、業務を効率化・省力化するためのスキルを身に付けた人材を効果的に育成していくため、業務のニーズにあった目的別研修を実施した。平成 29 年度は図書受入や雑誌契約交渉、資料保存をテーマに研修を実施した。また TV 会議システムを利用して、駒場図書館、柏図書館へ講習会の中継を行った。

#### (1) 業務研修・施設見学会

期間	内容	参加者数
平成 29 年 9 月 11 日	「オープンアクセスハンドブック解説」 講師 石田唯 (情報基盤課学術情報チーム (デジタル・ライブラリ担当)) 横井慶子 (附属図書館情報管理課資料管理係) 尾城孝一 (国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)	19 名
12 月 18 日	「図書資産管理の基本」 講師 飯塚亜子 (情報管理課選書受入係長) 浅井亮貴 (情報管理課選書受入係)	36 名
平成 30 年 1 月 26 日	「JUSTICE のお仕事。 ～縁の下の力持ちを支える縁の下の力持ち～」 講師： 中山知士 (情報管理課資料契約係長)	26 名
2 月 1 日	「東大で資料保存マネジメントを考えてみた- 基礎と応用 -」	18 名

	講師：小島浩之（経済学部資料室 講師）	
2月14日	「「保存と修理の基礎知識」実技編 - 保存箱と保存製本」 講師 田崎淳子（駒場図書館利用者サービス係長）	14名
3月8日	「これからのCATを考える」 講師 木下直（総務課専門員）	29名

### 6.3 友の会（柏図書館）

柏図書館友の会は、柏図書館の活動支援や会員相互、及び柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、平成20年度に発足した。第9回総会を5月25日に開催し、会長その他の役員や事業計画が承認された。また、理事会を2月19日に開催し、翌年度の活動計画や会則の見直しについて、議論を行った。平成30年3月31日現在の一般会員（個人）は244名である。

わくわくミニコンサート（1月12日開催）では15組の出演があり、173名が参加した。また、一部業務をコンサートマネジメント業者に委託した。

### 6.4 インターンシップ

大学図書館への就職を志望する大学生をインターンシップとして、筑波大学と慶應義塾大学から計4名を受入れ、総合・駒場・柏の各図書館のほか部局図書館・室の協力により、8月28日～9月8日の2週間にわたって実務研修を実施した。

### 6.5 地域連携（柏図書館）

#### （1）図書館見学バスツアーとビブリオバトル

柏図書館は、柏市立図書館並びに柏市内3大学図書館と連携して、市マイクロバスを利用した市民向けの「市立大学図書館見学バスツアー」及び大学生を中心に若年層への読書支援を目的とした「知的書評合戦（ビブリオバトル）」を11月25日に実施した。

#### （2）中学生職場体験の受入

柏市内の市立中学校2校から4名の中学生職場体験を受け入れ、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について、体験したり、働く人々と接したりする学習活動」の場を提供した。

### 6.6 教員著作物可視化事業との連携

平成28年度に開始された「教員著作物の可視化と国際発信」事業（研究推進部研究推進企画課）と連携し、東京大学教員の著作物を著者自らが紹介するサイト UTokyo BiblioPlaza に掲載される著作のうち、総合図書館、駒場図書館、柏図書館が未所蔵の図書を合計161冊購入し、各館に配架した。図書館からの提案により、同サイトの各著作の紹介ページには東京大学 OPAC の検索結果へのリンクが掲載されており、所蔵・貸出状況が容易に確認できる。また、対象図書の電子書籍36タイトルもあわせて購入し、学内ネットワークにより提供を行っている。

## 6.7 学内他部署との連携

### (1) 総合図書館

総合図書館では、平成 27 年度から、障害者集中雇用プロジェクトチーム（施設部施設企画課、以下プロジェクトチーム）の協力のもと、定期的な館内清掃等の作業を行っている。平成 29 年度も毎月休館日に、建物清掃班が閲覧机及び館内 PC のキーボード約 80 台の清掃を行い、業務支援班が書架の整理と清掃を行った。8 月以降は、別館地下 1 階ライブラリープラザの机・自動ドア等の清掃も開始した。あわせて、例年どおり業務支援班に依頼し、図書資産実査における資料番号読み取り作業を 11 月に実施した。

また、これらの定期業務とは別に、プロジェクトチームより依頼があり、実習生受け入れ時の適性確認のための作業を総合図書館内で行った。このような取り組みを通じて、プロジェクトチームと図書館との協力関係がさらに深まることが期待される。

### (2) 駒場図書館

駒場図書館では、平成 27 年度から障害者集中雇用プロジェクトチーム建物清掃班（駒場分室）による保存書庫の資料および書架清掃が行われているが、加えて平成 29 年度より不定期でメディアパークの PC や開架書架の清掃も依頼した。週 1 回、3～4 名のスタッフによつての丁寧な作業によって、保存書庫や館内の環境は格段に改善された。このほか教養学部等事務部環境美化チームにも不定期に資料の清掃を依頼し、遡及入力作業の効率アップにつながっている。両チームの貢献度は極めて高く、今後も連携を強化していきたいと考えている。

また、教養学部授業（2 件）での実地演習場所や国際化推進学部入試担当室作成の PEAK（教養学部英語コース）リーフレットのための撮影場所を提供した。そのほか、展示ケース利用制度による農学部進学選択関連展示（秋季）、大学総合教育研究センターの東大 TV の紹介展示（年末年始）、特設コーナーでの工学部進学選択関連展示（春季）も行われた。今後もこれらの部署との連携を深め、学習や進路選択に資する支援を継続することにより、駒場図書館の発信力強化にも繋げていきたい。

### (3) 柏図書館

柏図書館では、平成 25 年度から環境整備チーム（柏地区共通事務センター環境整備チーム）に書架整理やラベル貼付、送付物封入作業など様々な図書業務を依頼している。平成 29 年度は、図書資産実査の補助作業を 7 月から 8 月にかけて依頼し、約 20,000 冊の資料番号読み取り作業を実施した。また、医科学研究所の除籍資料約 5,000 冊について、消印の押印や結束作業を実施した。そのほか、返却図書の書架への配架や清掃作業を行っている。環境整備チームによる業務は、柏図書館にとって強力な業務支援となっており、今後も作業内容を相談しながら業務を依頼し、連携を深めたい。

## 6.8 規則改正

附属図書館では、全学委員会の見直しを受け、附属図書館運営委員会、将来計画特別委員会、サービス特別委員会を廃止し、附属図書館基本規則、図書行政商議会規則、附属図書館教員選考規則、学術資産等アーカイブズ委員会規則の一部改正を行った。

駒場図書館では、春季休業期間の開館時間を拡大するため、利用規則の一部改正を行った。

## 7. 附属図書館会議

開催日	会議名称
平成 29 年	
4 月 14 日	第 1 回東京大学学術資産等アーカイブズ連絡会議
4 月 25 日	第 432 回東京大学図書行政商議会
5 月 1 日	平成 29 年度第 1 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
7 月 13 日	平成 29 年度第 1 回東京大学柏図書館運営委員会
7 月 13 日	第 40 回駒場図書館運営委員会
7 月 14 日	平成 29 年度第 1 回附属図書館将来計画特別委員会
7 月 19 日	第 433 回東京大学図書行政商議会
7 月 21 日	第 2 回東京大学学術資産等アーカイブズ連絡会議
9 月 15 日	平成 29 年度第 2 回附属図書館将来計画特別委員会
9 月 26 日	第 434 回東京大学図書行政商議会
9 月 29 日	平成 29 年度第 2 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
11 月 6 日	平成 29 年度第 1 回図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会
11 月 21 日	平成 29 年度第 1 回総合図書館運営委員会
11 月 29 日	第 435 回東京大学図書行政商議会
12 月 14 日	第 41 回駒場図書館運営委員会
12 月 26 日	平成 29 年度第 3 回東京大学学術資産等アーカイブズ委員会
平成 30 年	
1 月 12 日	平成 29 年度第 2 回図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会
1 月 16 日	第 436 回東京大学図書行政商議会
2 月 27 日	平成 29 年度第 2 回東京大学総合図書館運営委員会
3 月 5 日	第 437 回東京大学図書行政商議会
3 月 8 日	平成 29 年度第 2 回東京大学柏図書館運営委員会
3 月 15 日	第 42 回駒場図書館運営委員会

# 全図書館・室統計

## 1. 附属図書館統計表

職員数	蔵書数				資料費 総額 (千円)	図書						逐次刊行物			相互利用 (文庫様写)										
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書			合計 (冊)	和文 (種)	和文 (冊)	英文 (種)	英文 (冊)	洋書		合計 (冊)	和文 (種)	和文 (冊)	英文 (種)	合計 (種)	合計 (冊)	館外貸出 (冊)	受付 (件)	依頼 (件)				
			和書	洋書							和書	洋書										和文 (種)	英文 (種)	和文 (冊)	英文 (冊)
			(冊)	(冊)							(冊)	(冊)										(種)	(種)	(冊)	(冊)
11	6	286,927	525,364	812,291	2,323	3,790	6,113	92,886	4,357	5,593	9,950	3,722	694	726	1,420	893	—	—	521	239					
2	4	58,382	822	59,204	8,004	39	8,043	124	69	0	69	4	114	0	114	0	—	—	411	0					
10	5	109,946	163,861	273,607	2,005	1,992	3,997	20,973	2,042	148	2,190	1,888	587	47	634	222	17,246	5,338	797	142					
12	15	164,904	240,704	405,608	4,027	3,490	7,517	18,082	2,294	1,213	3,507	1,785	889	150	1,039	476	42,236	614	559	78					
5	19	553,144	585,690	1,138,834	9,430	4,595	14,025	62,319	5,105	3,305	10,410	4,085	605	619	1,224	784	19,943	770	770	134					
5	8	40,734	182,369	223,103	996	3,175	4,171	13,136	353	839	1,192	488	274	175	448	190	9,209	134	134	152					
10	4	257,471	173,973	431,444	7,704	5,425	13,129	34,800	4,969	2,270	7,239	1,354	671	1,965	683	11,857	11,857	181	92	759					
8	11	510,359	331,372	841,731	11,382	4,759	16,141	28,348	5,863	1,398	7,261	2,506	578	232	810	304	19,804	181	181	92					
15	21	611,635	528,546	1,140,181	2,622	4,331	6,953	52,257	12,444	4,932	17,376	7,309	670	658	1,328	964	171,321	744	744	759					
1	2	8,709	69,127	77,836	144	1,094	1,238	4,661	112	523	635	298	35	59	94	61	2,561	—	—	—					
3	5	97,823	66,982	164,805	2,840	1,118	3,958	8,957	1,242	281	1,523	589	435	94	528	243	11,970	457	634	634					
2	1	12,576	35,898	48,474	385	488	873	2,202	329	1,244	1,573	210	87	7	94	9	2,340	216	97	97					
2	3	15,954	135,205	150,559	131	1,612	1,743	38,150	198	2,042	2,240	2,084	25	467	492	301	7,382	146	2	2					
2	4	71,806	55,164	126,970	1,392	1,363	2,755	2,366	717	627	1,344	311	168	46	214	61	4,321	608	101	101					
0	4	14,201	5,082	19,283	0	0	0	0	0	127	139	109	0	0	0	0	—	—	45	0					
2	0	4,208	14,418	18,626	225	349	574	156	0	0	0	0	13	6	19	6	83	8	188	188					
2	1	22,349	37,009	59,358	1,223	1,287	2,520	1,092	170	226	396	37	195	77	272	36	897	69	17	17					
5	5	504,356	192,535	696,891	2,708	7,193	9,901	11,183	2,047	2,368	4,415	1,619	409	587	996	394	403	289	125	125					
8	0	211,413	140,865	352,278	5,294	2,223	7,517	14,213	2,165	864	3,029	1,230	666	171	837	205	8,646	145	83	83					
2	0	63,228	94,528	157,756	1,052	1,485	2,537	963	1,138	295	1,438	210	149	5	154	7	663	102	41	41					
6	9	524,226	16,189	540,415	2,875	286	3,161	7,815	2,471	108	2,579	805	1,458	35	1,493	99	—	—	162	15					
0	1	991	23,390	24,381	21	214	235	10,359	5	33	38	38	12	57	66	65	114	25	4	4					
2	1	7,252	59,150	66,402	95	635	730	11,364	246	267	513	403	37	6	43	34	3,977	88	3	3					
1	3	23,012	36,308	59,320	1,644	1,199	2,843	5,126	401	171	572	276	450	208	658	49	547	116	31	31					
1	1	8,051	2,228	10,279	732	347	1,079	0	346	3	349	0	216	54	270	0	119	0	4	4					
2	2	17,821	30,461	48,382	80	414	494	1,693	425	179	604	234	14	3	17	10	2,505	4	33	33					
119	131	4,200,878	3,747,040	7,948,018	69,334	52,893	122,227	444,584	49,635	30,941	80,576	31,554	10,074	5,160	15,234	6,086	338,144	13,917	4,196	4,196					
37	16	840,380	445,081	1,285,461	11,760	9,743	21,503	1,380,546	8,293	4,022	12,315	7,785	1,895	285	2,160	222	114,924	2,650	82	82					
5	2	126,390	305,943	432,333	7,691	16,186	23,877	12,989	2,802	7,779	10,581	1,663	27	18	45	22	31,822	725	38	38					
161	149	5,167,748	4,498,064	9,665,812	88,785	78,822	167,607	1,838,119	60,730	42,742	103,472	40,972	11,996	5,443	17,438	6,340	464,890	17,292	4,316	4,316					

(社)日本図書館協会大学図書館部調査より  
(注)上掲職員数は附属図書館職員名簿(平成30年4月1日現在)より

## 2. 経年変化

### 2.1 蔵書数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2013（平成25）年度	9,350,046	1,234,185	633,490	388,766
2014（平成26）年度	9,450,809	1,250,686	639,672	404,959
2015（平成27）年度	9,521,122	1,264,226	652,242	415,207
2016（平成28）年度	9,577,261	1,274,450	663,311	421,752
2017（平成29）年度	9,665,812	1,285,461	673,355	432,333

（冊）

### 2.2 所蔵雑誌種類数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2013（平成25）年度	166,258	21,124	5,553	22,163
2014（平成26）年度	166,398	21,520	5,651	22,961
2015（平成27）年度	166,880	21,570	5,711	23,529
2016（平成28）年度	168,385	21,648	5,711	23,675
2017（平成29）年度	167,607	21,503	5,817	23,877

（種類）

### 2.3 資料費総額

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2013（平成25）年度	1,557,426	67,386	32,858	17,517
2014（平成26）年度	1,748,144	86,234	30,590	16,795
2015（平成27）年度	1,950,510	97,552	30,169	16,524
2016（平成28）年度	1,809,668	70,944	30,534	17,117
2017（平成29）年度	1,838,119	76,754	35,058	12,989

（千円）

### 2.4 入館者数（延人数）

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2013（平成25）年度	1,929,380	543,942	692,013	39,947
2014（平成26）年度	1,892,701	476,316	682,367	40,905
2015（平成27）年度	1,866,713	440,082	674,853	41,854
2016（平成28）年度	1,849,075	398,114	703,120	35,726
2017（平成29）年度	1,783,205	322,006	693,600	39,055

（人）

## 2.5 館外貸出冊数

	附属図書館合計	うち総合図書館	うち駒場図書館	うち柏図書館
2013（平成25）年度	511,674	134,771	174,663	32,550
2014（平成26）年度	497,067	122,374	174,507	32,681
2015（平成27）年度	523,756	153,479	169,298	35,669
2016（平成28）年度	516,179	147,411	169,064	31,746
2017（平成29）年度	484,890	114,924	165,941	31,822

(冊)

## 2.6 ウェブサービス等アクセス数

	東大OPAC (検索回数)	附属図書館 ウェブサイト	GACoS
2013（平成25）年度	4,282,787	1,790,795	508,720
2014（平成26）年度	3,579,138	1,572,633	550,968
2015（平成27）年度	3,120,728	1,434,215	584,309
2016（平成28）年度	3,876,972	1,325,206	586,230
2017（平成29）年度	5,263,724	1,136,901	704,424

(回)

## 2.7 電子ジャーナルダウンロード数

	CUP	Science	OUP	Springer	Wiley-Blackwell	Nature	Elsevier
2013(平成25)年度	24,081	183,682	172,956	358,471	649,561	933,812	1,896,544
2014(平成26)年度	27,873	173,046	175,586	334,155	652,581	1,006,529	1,988,641
2015(平成27)年度	29,978	178,288	171,516	369,083	685,344	1,082,116	2,111,667
2016(平成28)年度	26,449	166,146	169,279	332,206	723,586	938,701	2,165,378
2017(平成29)年度	31,748	171,636	224,286	371,400	792,470	1,014,694	2,265,331

(回)

【参考情報】 図書館関連統計情報の公開サイトについて

- ・ 附属図書館 統計表  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/about/statistic>
- ・ 主要情報サービス利用統計（情報システム部情報基盤課学術情報チーム）  
<http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/stat/index.html>



## 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-2612, 2613 (総務課企画渉外係)

Fax 03-5841-2636

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp>